



こころ えがお せかい
心つながり 笑顔ひろがり 世界へはばたく
がっこう
学校だより

よこはましりついできた しょうがっこう
横浜市立飯田北いちょう小学校
れいわ ねんど がっこう
令和6年度 1月号
れいわ ねん がつようか はっこう
令和7年1月8日発行

みどし せかいかくち ふる した へび
「巳年」 世界各地で古くから親しまれてきた蛇

「Năm Ty」 Con Rắn được quen thuộc từ thời xưa ở các nơi trên thế giới

“巳年”自古以来就被世界各地所喜爱的蛇

こうちょう さいとう ようじ
校長 齋藤 容二

れいわ ねん ねん はじ ほんねん ねが
令和7年、2025年が始まりました。本年もどうぞよろしくお願いたします。

ことし えと み へび みなさま いんしょう いぜんつと がっ
今年の干支は「巳」（蛇＝ヘビ、ジャ）です。皆様はヘビにはどのような印象をおもちでしょうか。以前勤めた学
校では、校庭にアオダイショウが出てくるのが何度かありました。太く大きなヘビですが、おとなしくもあり、
わたし どうぶつす しょくいん じゅうい もそのアオダイショウをつかんで感 触 を楽しみました
私も、動物好きな職員（獣医になりました）もそのアオダイショウをつかんで感 触 を楽しみました
（その姿を見て絶叫した職員もいました）。毒のあるヘビは危険ですが、身近に住む生き物であると言えます。

かか ことば ことがら さが みちか すいどう じゃくち しら
ヘビに関わる言葉や事柄を探してみると、身近なものとして水道の「蛇口」があったので調べてみました。

じゃくち こげん にほん すいどう ができたころ めいじ ねん すいどうち つか
「蛇口」の語源は、日本で水道ができた頃（明治20年）、水道口のデザインとしてヘビを使ったことからきてい
るとのことです。はじめは、輸入したヨーロッパでの水の神である獅子（ライオン）の頭部が使われていましたが、
にほん すいどうち せいざく つか りゅうす りゅうす よ ごと あたま つか
日本で水道口を製作するときにはリュウを使い、「龍頭（竜頭）」と呼ばれました。その後、ヘビの頭を使うよう
になり、じゃくち よ と呼ばれるようになったそうです。（Wikipedia より要約）

へび ち かんが ぶしぎ みず りゅう へび
「蛇の口」と考えると不思議ですが、「水→龍→蛇」とつながっていたのです。

ほんこうしょくいん ちゅうごく めいしょう き ちゅうごく shuǐlóngtóu ショイロントウ い
本校職員に、中国やベトナムでの名称を聞いてみました。すると、中国では「水龍頭（水龍頭）」と言
い、まさしく「龍頭」でした。ベトナムでは「VOI NUOC」と言い、「水のホース」という意味でした。

た さまざま と こ
他にも、ヘビは様々なものに取り込まれていました。

- WHO（世界保健機関）のマークにある、「医の神アスクレピオスの杖」での杖に絡まるヘビ
- 中国伝来の四神の中の玄武である、亀に絡まるヘビ
- インド→中国→日本と伝わってきた、弁財天とともに描かれるヘビ
- 日本各地で祀られている、神の使いとしての「シロヘビ」

ふる しんせい かみ つか たいせつ ぶつかつ さいせい いみ みず かみ
古くからヘビは「神聖なもの」「神の使い」「大切にもの」「復活や再生を意味するもの」「水の神」などと
かんが ひとひと く みちか せんざい わ
考えられ、人々の暮らしに身近な存在だったことが分かりました。

その見だ目から敬遠する人もいるようですが、長い歴史の中でのヘビの存在や意味を知ると、ありがたく親しみ
のあるものに思えてきます。このことは、他の様々なことにもつながるのではないかと思います。見だ目や「なん
となく」で物事や相手を決めるのではなく、背景や経緯を知ることによって違った捉え方ができるとともに、自分の見方
や考え方を考えることで、関わり方も変化していくものです。知ろうとすることで、自分の関わる世界や考えが
ひろ
広がっていくことはうれしいものです。

ことし こ すす こうどう であ きつ まな ひび きょうしょくいん
今年も、子どもたちが進んで行動し、たくさんの出会い、気づき、学びのある日々にしていけるよう、教職員
いちどうとりよく おも
一同努力していきたいと思ひます。